

氏名	小崎 吉訓
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6697 号
学位授与の日付	2022 年 9 月 22 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	The Impact of Medical Students Teaching Basic Life Support to Laypersons (医学生が一次救命処置を一般人に教えることの影響)
論文審査委員	教授 大塚文男 教授 森松博史 教授 小川弘子

学位論文内容の要旨

我々は救急医学教育の一環として、医学生が一般市民に一次救命処置（BLS）を指導することで、一般市民の心肺蘇生（CPR）を行う意欲・自信、CPR の正確性が高まることを検証した。また、一般市民を対象に BLS の指導を行った医学生は、受動的に BLS を学んだ学生と比較して、CPR を行う自信と意欲が高いかどうかについて、アンケート調査を行った。

BLS 講習を受けた一般市民 294 名は、意識の確認、胸骨圧迫の実施、自動体外式除細動器（AED）の使用において、自信があると答えた割合が指導後に有意に増加した。実技指導を行わず、受動的に BLS を学んだ医学生と比較して、一般人に BLS 指導を行った医学生では、BLS の理解度、意識の確認、胸骨圧迫の実施、AED の使用、BLS を行う意欲のそれぞれにおいて、有意な向上が見られた。医学生が行う BLS 指導は、一般市民の CPR の質と心停止対応の自信の向上に貢献した。医学生が BLS を教えることで、自身の BLS の技術を理解し、CPR に対して自信を持ち、やる気を出すことができる。

論文審査結果の要旨

本研究者は、救急医学教育の一環として、医学生が一般市民に一次救命処置（BLS）を指導することで、一般市民の心肺蘇生（CPR）を行う意欲・自信、CPR の正確性が高まることを検証した。また、一般市民を対象に BLS の指導を行った医学生は、受動的に BLS を学んだ学生と比較して、CPR を行う自信と意欲が高いかどうかについて、アンケート調査を行った。

その結果、BLS 講習を受けた一般市民 294 名は、意識の確認、胸骨圧迫の実施、自動体外式除細動器（AED）の使用において、自信があると答えた割合が指導後に有意に増加した。実技指導を行わず、受動的に BLS を学んだ医学生と比較して、一般人に BLS 指導を行った医学生では、BLS の理解度、意識の確認、胸骨圧迫の実施、AED の使用、BLS を行う意欲のそれぞれにおいて、有意な向上が見られた。医学生が行う BLS 指導は、一般市民の CPR の質と心停止対応の自信の向上に貢献した。医学生が BLS を教えることで、自身の BLS の技術を理解し、CPR に対して自信を持ち、やる気を出すことができる。

本研究において、救急医学教育のなかで、医学生が BLS を指導するというプロセスが、心肺蘇生（CPR）を行う意欲・自信、CPR 技術の向上に繋がるという新知見が示された。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。